

大正方面へ向かう。若井 381号を十和 川の街中から国道

大橋を過ぎ、坂を登り

おお

か

R56

従って左に入ると大向の集落が始ま 板がある。その看板に 印とともに「大向」と書 のすぐ手前に、左への矢 きったところに、生姜加 かれたかわいらしい看 工販売会社があるが、そ

る大工さん兼舟大工という人もいた

のだとか。また、水中の岩にもそれぞ

漁のとき

落で、現在は2世帯70人が暮らして に囲まれた、ほぼまん丸の地形の集 江戸時代以前から、 大きく蛇行する四万十川 対岸の若井村

> の目印になっている。 れ名前が付けられていて、

変遷をカメラに収めてきたという方

いう方で、若い時からずっと、地区の

さて、この地区で生まれ育ったと

然ながらポンプアップする技術はな 地区の周りをぐるりと四万十川が囲 儀二付、作付米五石拝借仕候」とある 地区で、江戸後期の記録に「大向村難 村の小村として記されている。古く を引いてくるしかなかったのである の地区では、ずっと奥の支流から水 み、水は十分に見えるが、その昔は当 から農業用水にはかなり難儀をした うである。戦国期の地検帳にも、若井 「出作地」として開拓されてきたよ 小高い丘のようになっているこ 川漁には 陽の光をいっぱいに受けて走る姿が らいからは若井地区を行く汽車が太 ろである。そこからは対岸の若井地 間なのだが、誠に気持ちの良いとこ 作りのベンチが幾つかあるだけの空 た「公園」がある。小さな林の中に手 らしい。「公園」に設置しているテー は太陽が逆光になるが、 がおられるのだが、この方が作られ にちゃんと時刻表が貼ってある ブルには、それを見てもらえるよう 農村の景色と一体となり風情がある 若井沈下橋が一望できる。午前中 午後3時く

地区の方が撮り貯めた大向の写真



林の中にある「公園」

(2月28日) 人口 死亡 前月比 転入 転出 男 8,125 9 21 19 -6男 町のうごき 9,008 -222 18 女 18 12 女 計 17,133 28 3 27 33 37 世帯数 8.498 -8 (2月中の届出)

> 大正地域 2.392人 窪川地域 12,121人 十和地域 2.620人

四万十川の 水質状況

	川川川川町	16/1)	37120	
リン酸	≦ 1.	.0	測定範囲以下	
硝 酸	≦ 0.	.5	測定範囲以下	
アンモニウム	≦ 5.	.0	0.106	
アニオン活性剤	≦ 1.	.0	0.20	
化学的酸素要求量	≦10.	.0	測定範囲以下	

調査:大正(吾川) 資料:四万十高校自然環境部

四万十町通信

いる。

村と同じく春日神社で、

若井村の春

大向の産土神は、

若井

日神社からの分祀である。大向は若

村の枝村であったことを示して

2019.4月号 Vol. 157 (毎月10日発行) ●発行/四万十町企画課

●印刷/窪川印刷

〒786-8501 高知県高岡郡四万十町琴平町16-17

**2** (0880) 22-3124 FAX (0880) 22-3123